

来年の受験生へ

先輩から参考書を贈ろう



参考書の持参を呼び掛ける、学生盛りあげ隊のメンバー＝豊田市小坂本町で

豊田市と市民を元気にする活動を展開する学生団体「とよた学生盛りあげ隊」が、受験が終わった高卒生から受験参考書を集め、メッセージカードを添えて来年の受験生に無償で贈る「PASS THE NOTE（パス・ザ・ノート）」に取り組んでいる。頑張った元受験生からの熱い思いと勉強のポイントを受け取る取り組みで、人気行事に育っている。（久野賢太郎）

パス・ザ・ノートは市に職場体験に来ていた学生の発案で二〇一七年から市が実施。学生視点でできるボランティア活動として、一年から盛りあげ隊が企画・運営を引き受けている。書き込みがあったりして古書店にも持ち込めないような参考書は処分するしかなかったが、その書き込みこそ価値がある。今年中心

豊田の学生団体 メッセージ付き 24日譲渡会

になって進めている愛知教育大二年、松田朋華さん（左）も「重要な部分や間違えた部分だからこそメモを取るし、線も引く」と話す。

参考書を回収する際には、高卒生や盛りあげ隊メンバーらがメモ用紙にメッセージを書く。受験生へのエールや息抜きの仕方、勉強のポイントなどをしたため、本に添えて渡す。ひと手間かかることもあり、メンバーの中で「今年は取りやめようか」という声も出たが「メッセージカードこそ、心が通ったこのイベントの強み」と今年も実施することにした。

昨年は科目別の参考書や受験校別の過去問題集など合わせて四百冊近くが集まった。譲渡会当日はおよそ五十人が訪れ、急ぎよ整理券を配るほどの人気ぶりとなった。

松田さんは「先輩が書き込んだ本やメッセージカードを見て、孤独になりがちな受験生が、応援してくれる先輩がたぐさいると心強く感じてもらえれば」と願っている。

本は二十一日まで豊田産業文化センター（小坂本町）で受け付ける。譲渡会は二十四日午前十時から、同センターで開く。